

ヨブ記 1章1～12節

正しい者にも苦しみがあります。その時、あなたは何に目を止めますか？

1. 序

1章について

- 1～5節 ヨブという人物
- 6～12節 サタンの主張
- 13～19節 ヨブの災難
- 20～22節 ヨブの反応

2. ヨブという人物 (1～5節)

2017年版 1:1

「ウツの地に、その名をヨブという人がいた。この人は誠実で直ぐな心を持ち、神を恐れて悪から遠ざかっていた。」

A. ヨブ (1節)

「潔白で正しく」

「神を恐れ、悪から遠ざかっていた」

ヨブ28:28

「こうして、神は人に仰せられた。『見よ。主を恐れること、これが知恵である。悪から離れることは悟りである。』」

使10:35

「どの国の人であっても、神を恐れかしこみ、正義を行う人なら、神に受け入れられるのです。」

☆ノアについて

創6:8～9

「しかし、ノアは、主の心にながっていた。これはノアの歴史である。ノアは、正しい人であって、その時代にあっても、全き人であった。ノアは神とともに歩んだ。」

B. ヨブの信仰の姿 (5節)

「聖別する」— 神のために特別に分け離すこと (出エジプト13:2, 使13:2)

「全焼のいけにえ」—  オラー 語源は「上る」という意味のことば

神への「なだめの香り」として、ささげ物を祭壇の上で焼き、ささげ物全てが神のものであることを表わした。神への全き献身を表わす (レビ1章)

創8:20

「ノアは、主のために祭壇を築き、すべてのきよい家畜と、すべてのきよい鳥のうちから幾つかを選び取って、祭壇の上で全焼のいけにえをささげた。」

「ヨブはいつもこのようにしていた」

C. ヨブに与えられた祝福 (2～4節)

創24:35

「主は私の主人を大いに祝福されましたので、主人は富んでおります。主は羊や牛、銀や金、男女の奴隷、らくだやろばをお与えになりました。」

### 3. サタンの主張 (6~12節)

7節「地を行き巡り、そこを歩き回って来ました。」

創6:5

「主は、地上に人の悪が増大し、その心に計ることがみな、いつも悪いことだけに傾くのをご覧になった。」

I ペテロ5:8

「身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。」

9節「ヨブはいたずらに神を恐れましょうか」

2017年版「ヨブは理由もなく神を恐れているのでしょうか」

「いたずらに」 ヒツナーム 2:3, 9:17, 22:6では「理由もないのに」と訳されている。

☆サタンの主張

「神を恐れているのは、ヨブにとって何か得になる理由があるからですよ。ヨブの信仰も、きっとご利益宗教なのですよ」

10節「垣を巡らす」— 神の特別の保護・守りを意味している。

ただ一つの事が神から不許可とされた → 「ヨブの身に手を伸ばしてはならない」

### 4. サタンという存在

私たち人間に罪をもたらした存在

創3:16

「女にはこう仰せられた。『わたしは、あなたのうめきと苦しみを大いに増す。あなたは、苦しんで子を産まなければならぬ。しかも、あなたは夫を恋慕うが、彼は、あなたを支配することになる。』」

創3:13

「そこで、神である主は女に仰せられた。『あなたは、いったいなんということをしたのか。』女は答えた。『蛇が私を惑わしたのです。それで私は食べたのです。』」

ローマ5:12, 18~19

私達も、かつてはサタンに支配されていました。

エペソ2:1~2

「あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、そのころは、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。」

☆サタンの呼び名

- a. 悪魔 (マタイ4:1, ルカ4:3, ヨハネ8:44, 使10:38)
- b. 試みる者 (マタイ4:3)
- c. 誘惑者 (1テサロニケ3:5)
- d. 悪い者 (マタイ13:19)
- e. 告発者 (黙12:10)
- f. 敵 (マタイ13:39, ルカ10:19)
- g. 悪霊どものかしら (マタイ9:34, マルコ3:22)
- h. この世を支配する者 (ヨハネ12:31)
- i. 空中の権威を持つ支配者 (エペソ2:2)
- j. ベルゼブル (マタイ10:25)

## ☆サタンの活動

### I 歴代誌21:1

「ここに、サタンがイスラエルに逆らって立ち、ダビデを誘い込んで、イスラエルの人口を数えさせた。」

### ゼカリヤ3:1~2

「主は私に、主の使いの前に立っている大祭司ヨシュアと、彼を訴えようとしてその右手に立っているサタンとを見せられた。主はサタンに仰せられた。「サタンよ。主がおまえをとがめている。エルサレムを選んだ主が、おまえをとがめている。これは、火から取り出した燃えさしではないか。」

### 使5:3

「そこで、ペテロがこう言った。『アナニヤ。どうしてあなたはサタンに心を奪われ、聖霊を欺いて、地所の代金の一部を自分のために残しておいたのか。』

### I テサロニケ2:18

「それで私たちは、あなたがたのところへ行こうとしました。このパウロは一度ならず二度までも心を決めたのです。しかし、サタンが私たちを妨げました。」

A. サタンは常に神への敵対者（ルカ22:3）であり、神の計画を破壊する者として描かれています。

### マルコ4:15

「みことばが道ばたに蒔かれるとは、こういう人たちのことです—みことばを聞くと、すぐサタンが来て、彼らに蒔かれたみことばを持ち去ってしまうのです。」

### エペソ6:12

「私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。」

### I ペテロ5:8~9a

「身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。堅く信仰に立って、この悪魔に立ち向かいなさい。」

### II コリント11:14

「しかし、驚くには及びません。サタンさえ光の御使いに変装するのです。」

信仰者に対しても、その戦いを挑んでくる存在です。

### エペソ6:10~17

## 5. 私たちの宣教の働き

### 使26:18

「それは彼らの目を開いて、暗やみから光に、サタンの支配から神に立ち返らせ、わたしを信じる信仰によって、彼らに罪の赦しを得させ、聖なるものとされた人々の中であって御国を受け継がせるためである。」

私たちは、先に救われた者として、この宣教の働きを主から託されています。

### ローマ10:11~15

### I ヨハネ5:4~5

「なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。」